

令和4年度 桂中学校教育について

【学校教育目標】

- ・『言語能力の育成・言語活動の充実』
- ・『「温かな心」「たくましさ」を兼ね備えた生徒の育成』

【重点目標】

1 全教科における、言語能力の育成と言語活動の充実

必ず、授業の初めに「本時のめあて」の明示、終わりに「まとめ」を行う。
グループ学習等を積極的に取り入れ、言語活動を充実させる。
積極的に図書館利用やタブレット活用を行う。

2 一人残らず全ての生徒が「桂中学校で過ごせて良かった」と思える学校づくり

全ての生徒にとって学級・学校が安全で安心できる場所であり、居心地の良い場所であること。そのために、一人一人が認められ、自己有用感の高い、温かな学級・学校づくりが重要である。一人一人の良さを認め合うとともに感謝の気持ちや、思いやりのある生徒を育てる。

3 生徒のさまざまな困りに対する理解と確かな支援

学習のつまずきや友人関係、部活動や家庭のことなど、様々な場面において、日々の生徒への観察や情報収集を通して、生徒の変調に気付くことは勿論、言葉にならない思いも汲み取った丁寧で適切な対応を心掛ける。

4 学校図書館教育の見直し

授業における学習活動の場としての活用と充実
放課後学習会などの自主学習の場としての活用
桂中ブロック校区3小学校図書館教育との連携



それらの活動の中から「高い言語能力」を備えた生徒を育てる。

5 生徒会活動を中心とした特別活動の充実

さらなる生徒の主体的な活動の浸透を図るため、特別活動の学校行事・生徒会活動・学級経営などの教育課程の中で、生徒会を中心として自ら考え行動する姿勢を養っていく。

【目指すべき生徒像】

1 高い言語能力をもつ生徒

自分の考えを論理的に表現できるとともに、他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えを再構築できる生徒

2 高い人権意識と鋭い人権感覚をもつ生徒

他者への思いやりをいつも持ち続け、いじめや人権についての理解・認識を深め、正しい判断・行動のとれる生徒

3 人として常に成長する、たくましい心身をもつ生徒

自分の考えをことばで表現することができ、困難にあたってそれを乗り越えようと努力する生徒

【目指すべき教職員像】

1 言語活動を積極的に取り入れて、わかる楽しい授業づくりに取り組む教職員

「主体的・対話的で深い学び」の具体的な授業づくりを基盤に、言語能力の育成を目指して常に授業改善の意識を持ち実践していく。また、自ら課題を見つけ、解決する授業づくりを目指し、学習意欲の向上を図り、家庭学習の定着を目指していく。

2 一人残らず全ての生徒が「桂中学校で過ごせて良かった」と思える学校づくりに取り組む教職員

高い人権意識と鋭い人権感覚をもつ生徒を育成するために、自らも積極的に研鑽を積む。

安心して楽しく過ごせる温かな学級・学年・学校づくりを推進するため、一人一人の生徒理解に努め、心の通った指導を推進する。また、ふれあいを大切にしながら、やさしさと思いやりのある心豊かな生徒を育てる指導に努める。

「不登校」「いじめ」の防止や解消のため、早期発見、早期対応に努める。また、必要に応じて、家庭や地域、関係機関との連携を図る。(いじめ防止基本方針の共有)

3 意欲を持ち、切磋琢磨出来る教職員

全教職員がお互いの良さを認め合う。

教職員全員の力（チーム桂中として）で学校づくりに取り組む。

日常のコミュニケーションを大切にした職場環境づくりを推進する。

『一人残らず全ての生徒が
「桂中学校で過ごせて良かった」
と思える学校』を目指し、
我々、教職員も
「桂中学校で勤務できて良かった」
と思える学校に！

平成24年度制定学校スローガン

「輝く未来は無限大～響け！！桂中和音～」

平成25年度制定 学校キャラクター「桂王子」

